

1 / 2

四	上	中	工	合	上	合	中	工	合	四	上	中	工	合
四	合	中	工	合	四	合	四	上	中	工	合	中	工	合
や	た	だ	ひ	ち	ゆ	い	ぬ	く	さ	り	て	い	な	ま
八	合	八	合	四	合	四	上	中	工	合	四	上	中	工
ら			む	じ	よ	な	く	ぬ	さ	だ	み			わ
六	合	工	合	六	工	六	七	六	工	合	六	合		び
かな	し	さ	や	かな	し	さ	や	い	ち	や	が	さ		
六	工	六	七	七	六	工	合	六	七	合	八	七	六	工
り	な	さ	や	い	な	ぐ	み	ぬ	う	む	い			
上	合	四	合	四	老	四	中	尺	六	工	六	合	工	合
み	ゆ	る							ち	り	な	さ	や	ち
工	合	中	工	中	尺	合	尺	合	四	合	中	工	合	
ゆ	し	ぬ	ふ	に	や				ち	ゆ	み	ど	う	
工	合	工	上	中	四	合	四	乙	四	合	上	中	工	中
て	い		ふ	ゆ	る	わ	が	て	い	さ	じ			か
四	合	中	工	合	上	合	四	合	四	合	四	上	中	
								は	い	ふ	に	に	ん	か
尺	合	尺	合	四	合	中	工	合	上	合	四	合		
ぬ			す			で	い	ぬ	な	み	だ			
四	合	四	乙	四	合	上	中	工	中	尺	工	合	中	工
し	う	み	さ	と	う	め			わ	か	り	ゆ	る	ち
上	合	中	工	合	四	合	四	上	中	工	合	工	上	中
			と	う	に	た	び	た	ち	ゆ	る			か
四	上	中	工	合	上	合	中	工	合	四	上	中	工	合

三重城

本調子

2/2

や

いちや

いちん

な

らん

尺合尺合四合中工合上合四合

一、唐に旅立ちゆる かなし思里前

別りゆる際ぬ 袖ぬ涙

走船に向かてい 振ゆる我が手巾

かりゆしぬ船や 一目どう見ゆる

切りなさや 切りなさや 如何がさ

びら

無情なくぬ 宿命 我身やただ一人

残さりてい 今や いちやいちんな

らん

二、里前御船送てい 戻る道しがら

面影や増しゆる 里が姿

思び出すさ 思び出すさ 別る三重

城

名残さや 名残さや 行ちゆる里前

朝夕願事 立ていてい うさぎりば

結で呉てい 賜ぼり 二人が縁ゆ

里とう 三重城